

# ごん吉くんしポート〜南吉よもやま話〜

## 第17回 雁宿公園と貝殻詩碑

皆さん、最近、雁宿公園に行かれましたか。お花見に行ったよ、という方も多いと思いますが、久しぶりに訪れた方は、その変貌ぶりに驚かれたかもしれません。

半田市では、平成26年から旧交通公園と球場を含めた雁宿公園の整備を進めています。鬱蒼と茂った樹木を間伐して桜の苗木二三〇本余りを植え、知多半島随一とうたわれた桜の名所を再生させると共に、こども広場やウォーキングコースを整備して、より市民に親しまれる公園になろうとしています。

雁宿公園は、明治23年に半田を中心に行われた第1回陸海軍大演習の際、明治天皇がこの地から統監されたことを記念してつくられました。開園は明治天皇崩御の翌年、大正2年9月11日です。ちなみに南吉は明治天皇崩御からちょうど1年後の同月同日（7月30日）に生まれたので、南吉誕生の一か月半後の開園ということになります。

南吉は、岩滑の家から1.5kmほどしか離れていない雁宿公園を度々訪れています。

「放課後、久米、金次、堅吉とつれだつて、雁宿公園へ行った。そこで、余は、童謡「小山」を作った。」（昭和4年4月27日）

「風にあたって来いと父がいつので帽子をかむって出かけた。風は寒いがたえられぬほど

ではない。公園には誰もいなかった。火曜日の午前だから無理もない。所在なくてブランコにのつた。」（昭和13年3月9日）

はじめの日記は中学時代のもですが、残念ながらこの時に作った童謡「小山」の内容は分かっていません。このほかに岩滑小学校で代用教員をしていた際にも児童たちと遠足で訪れています。

雁宿公園に南吉の記念碑が建てられたのは、昭和36年12月のことでした。詩「貝殻」の一節を刻み、ランプとでんでんむしを象つたユニークな碑は、旧制半田中学校で南吉の先輩にあたる小川寛一氏（彫刻家・日展審査員）がデザインしました。整地や周囲の植樹には、市民がボランティアで参加（写真）しています。



あがった貝殻詩碑は、市内で最初の南吉文学碑として親しまれ、南吉の命日（3月22日）を「貝殻忌」と命名する理由のひとつにもなりました。



## 《半田市プロモーションビデオ》 市外のお知り合いにもぜひ紹介してください

半田市の魅力を「ギュッ」とつめこんだ動画をつくりました。ぜひご覧ください。

### ■視聴方法

市ホームページまたは以下のQRコードから視聴できます。

※動画投稿サイト「YouTube」でも視聴できます。「半田市プロモーション」で検索してください。

### ■問い合わせ

企画課 ☎84-0603

### ■内容

#### ①「HANDA Headliner」

ニュース調で半田の魅力徹底解説!  
【5分間】



#### ②「いいかも!はんだ」

女性目線でもちの魅力をご紹介!  
【5分30秒】



### 収録したDVDをみなさんにお貸しします!!

みなさんが主催するイベントなどでぜひご活用ください。  
企画課（市役所4階）でお貸しします。